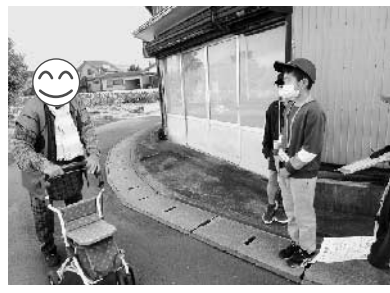


1年間の総合的な学習の時間の学び

ぼくたちは総合的な学習の時間で「ゴミゼロチャレンジ」に取り組んでいます。はじめに、世界のごみ問題について勉強しました。次に、近くにどれだけごみがあるのか調べるために、ビーチクリーンと地域クリーンに行きました。ごみを減らすためにそれぞれができることを考えて、ぼくはポスターを作成して区長さんに渡しました。みんなはポスターやかんばんを地域に置いたり、ビオスの浜への通り道に置いたりしました。すると、ごみは減りましたがゴミゼロにはなりませんでした。だから地域の人もう一度直接伝えようと考えました。ぼくたちはポスターを見やすいように工夫して2月に直接渡しに行きました。大きな声で渡せてよかったです。3月の参観日ではみんなでげきをして1年間の学びを発表します。これからもゴミゼロチャレンジを続けていきたいです。



みんなも家でごみをへらしてごみを捨てないように気を付けてほしいです。

(南郷小学校 3年 宗崎 瑚太郎)

これからもつないでね、地域と学校

3月11日は、「田ノピーフェス」地域と学校がつながろうの思いを込めて、小学校でイベントがありました。ぼくたちの「地域を元気に」という思いを、保護者が叶えてくれました。

あつという間に会場も設営され、あちこちにはポスターも張られていて、お父さんお母さんパワーはすごいと嬉しくなりました。ぼくたちにできたことは、校区のポスター配りと一軒一軒声をかけて訪ねて「イベントに来てください」とお願いすることでした。本番では、予想以上のお客さんが来て楽しく過ごしてくれました。ぼくのお父さんもガパオライスを販売してくれました。そして、「この学校、いいね」と楽しそうに言ってくれました。ぼくたちが卒業した後もつないでほしいです。



(田ノ口小学校 6年 ダグラス・ライ・ブラウン)

未来型カフェ体験

2月3日(金)、修学旅行中に「総合的な探究の時間」の学習の一環として、東京・日本橋にある「分身ロボットカフェ」に行ってきました。外出困難者である従業員の方(IIパイロット)の遠隔操作により、ロボットがサービスを提供する新しい形のカフェです。

私たちは代表取締役の吉藤オリイさんからお話を伺い、分身ロボットOrii(オリイ)の体験をさせていただきました。働きながら笑顔が増えた「人生何が起ころるか分からない」という言葉からは働くことの楽しさや嬉しさが伝わってきて、Well-being(持続的幸福感)につながっていると感じました。貴重な体験ができ、自分の生き方を考え直すとともに、新たな価値に触れることができました。



(大方高校 2年 西村 美咲)